世界遺産・二条城　一口城主募金

国宝・二之丸御殿
白書院修理
ご寄付のお願い

令和8年11月





二之丸御殿白書院

京都市
CITY OF KYOTO



ご挨拶



京都市長
松井孝治

慶長8（1603）年、徳川家康が京都御所へ向かう拠点として築き、京都における将軍の宿泊所となった二条城。その後、寛永3（1626）年に京都御所から後水尾天皇を迎え入れた「寛永行幸」の舞台となり、慶応3（1867）年には15代将軍慶喜が大政奉還の意思を表明する場となった、まさに徳川幕府の始まりから終焉までを見つめてきた城です。平成6（1994）年にはその歴史的・文化的価値が評価され、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界文化遺産に登録されました。

現在、二条城は明治期の皇室離宮の時代を経て、京都市が所有・管理しています。

国宝6棟の建造物で構成される二条城の二之丸御殿は、昭和の大修理以来約80年が経過し、建物の老朽化が進んでいます。とりわけ江戸時代から引き継がれてきた部材等は、抜本的な対策が必要な時期を迎えています。引き続き文化財としての価値を守るとともに、来城者の皆様に安全にご観覧をいただくためには、老朽化した建物の修理に加え、耐震補強を施すなど、総合的な視点に立った保存修理工事の実施が必要です。

今回の修理工事は、4工区に分けて段階的に進めます。令和10（2028）年から始まるA工区では、将軍の居間であったと考えられる白書院（国宝）、調理などを行った台所・御清所（重要文化財）の修理を行います。

文化財の修理には、通常の建築物の修理費をはるかに超える相当の資金が必要となります。二之丸御殿修理の趣旨にご賛同いただき、何卒、本募金に温かなご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和8年11月

【募金の趣意】

二之丸御殿の修理には、建造物の修理にとどまらず、建物内部に施された部材、欄間などの装飾品、障壁画の修復なども必要となります。場所によっては寛永期以来の修繕箇所もあり、相当大掛かりなものとなります。また、A工区終了後は、これまで非公開だった台所・御清所の公開も進め、本市としてより一層歴史と魅力を感じていただける二条城の運営に努めてまいります。

全4工区の総事業期間は、現時点では34年を想定しており、そのうち今回の募金の対象となるA工区の事業期間は8年、事業費は約40億円と考えています。修理の財源については、これまでいただいている寄付金に加え、お越しいただいた皆様からの入城料収入、国からの補助金なども見込んでいますが、何より幅広い皆様からの一層のご支援ほど心強いものはございません。

二条城の二之丸御殿修理についてその趣旨をご理解いただき、募金にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

二之丸御殿白書院、台所、御清所について


白書院二之間

【国宝】二之丸御殿白書院（しろしょいん）

白書院、黒書院、蘇鉄之間、大広間、式台、遠侍及び車寄からなる二之丸御殿6棟は、慶長7（1602）年～8年に建てられ、その後、寛永3（1626）年の寛永行幸に備えて大改修が行われました。城郭の御殿建築は、寛永期にその頂点に達したとされます。これらは、その時代を偲ぶことができる貴重な建造物群です。江戸時代初期に作られた御殿建築と庭園が残っている城郭は、当所しかありません。

中でも白書院は、江戸時代には「御座の間」と呼ばれたことから、将軍の居間などとして使われたと考えられます。


二之丸御殿台所

【重要文化財】二之丸御殿台所（だいどころ）・御清所（おきよどころ）

二之丸御殿6棟が将軍による政事の表舞台ならば、二之丸御殿台所・御清所は裏方の建造物群です。寛永行幸に際し建てられたと考えられ、国内の文化財指定を受けた台所や庫裏（くり）などの中では、屈指の規模を誇ります。その土間と板間が一体となった内部空間の広さは随一です。日本の城郭の中で台所と御清所がともに残っているのは、ここだけです。

寄付金の使途

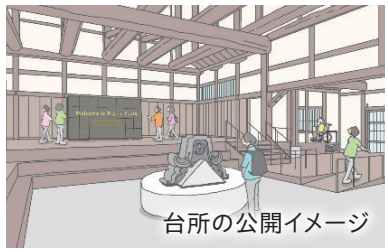
【主な修理】

1. 全ての瓦を葺き替えます。雨漏りによる腐朽部、屋根面の歪みが著しい箇所、軒先の下がりやねじれを修理します。
2. 建物を支える木部や小屋組、軒廻りの虫害、劣化については、同材による取り替え等により健全な状態にします。
3. 障壁画の亀裂や絵具の修理をします。破損がひどいものは当時の工法にならい新調します。
4. 建具のゆがみ、建付け不良を是正するとともに、障子紙の破れや板戸などの割れ等を修理します。
5. 妻面全体を黒色塗装にし、金具の金色が映える往時の姿へ戻します。
6. 漆がはく離した床を漆で復旧します。
7. 文化財の価値を損なわずに、耐震性能を確保する補強（木造建物が持つ柔軟性を活かしつつ、建物に耐力を持たせることで大きな揺れによる倒壊を防ぐ）を行います。


屋根面の歪み


障壁画の破損


小屋組の破損


台所の公開イメージ

【公開活用】

これまで一般公開をしていなかった台所・御清所を公開し、文化財の魅力を最大限に引き出しながら、誰もが楽しめる公開運営を目指します。

二之丸御殿の本質的価値や固有の歴史、さらには保存修理の過程を分かりやすく伝える展示や解説を充実させるとともに、多言語対応やスロープの設置などバリアフリーにも配慮し、安全で快適な観覧環境を整備します。

募金の概要

1	名称	世界遺産・二条城一口城主募金　国宝・二之丸御殿白書院修理
2	目的・使途	二条城の二之丸御殿（白書院）及び台所、御清所の保存修理のための資金に充当
3	募集期間（対象期間）	令和8年（2026）11月～令和15年（2033）（予定）
4	ご寄付への顕彰・特典	ご寄付の金額に応じて、特別な体験や記念品など、複数の特典の中からご希望の内容を選択いただけます。

【ご寄付の単位】**一口1万円から**

1万円未満の寄付につきましては、総合案内所で受付しております。

※城内で200円以上ご寄付された方は、金額に応じて、竹しおり、缶バッジやオリジナルステッカーをお渡しします。

顕彰・特典内容		1万円未満	1万円以上	10万円以上	100万円以上	詳細
顕彰	芳名帳（二之丸御殿白書院への納帳）	—	—	—	○	寄付者のお名前を記した芳名帳を当該工区の工事終了後、二之丸御殿白書院内に納帳します。
	芳名板（城内掲示）※1	—	—	○	○	城内の芳名板へ掲出します。
	一口城主名簿（ホームページ）※1	—	○	○	○	インターネット上の一口城主名簿へ掲出します。
	感謝状	—	—	○	○	10万円以上ご寄付いただいた方は、感謝状を贈呈します。
特典	【A】一日城主参加権《100万円未満は抽選》	—	A・Dから選択	A～Dから選択	A～Dから選択	城内文化財や庭園をご案内、大広間での記念撮影等を体験いただきます。《100万円以上（抽選は一口につき）2名を招待。抽選は寄付額1万円ごとに一口／年に1回。》
	【B】入城証※2	—	—			5年間無料で入城できる入城証をお渡しします。※特別事業（ライトアップ等）には使用できません。
	【C】文化財保護技師とのおしゃべりウォーク ～文化財のレアな話が目白押し～	—	—			二条城の文化財保護技師が、本格修理事業や現在の修理状況等について、城内の文化財建造物を巡りながらご案内します。《10万円で2名を招待》
	【D】オリジナルグッズ※2	—	A・Dから選択			二条城ゆかりのオリジナルグッズをお渡しします。
記念品	缶バッジ、ステッカーなど	○	○	○	○	—

※1　掲出は希望者のみ。
※2　京都市にお住まいの方からの京都市への寄付については、ふるさと納税制度の活用と税額控除は可能ですが、総務省の告示により、返礼品を受け取ることはできません。

＊500万円以上の個人寄付（または1,000万円以上の団体寄付）をいただいた方で、希望される方については、国への「紺綬褒章」の内申を行います。ただしこの場合、返礼品を受け取ることはできません。

申し込み方法

寄付方法は

【1】銀行払込み
【2】インターネット決済
【3】窓口払い

からお選びいただけます。


【国宝】二之丸御殿白書院

【1】銀行払込み

添付の納付書に必要事項をご記入のうえ、金融機関に現金で払い込みください。

【2】インターネット決済

インターネットからクレジットカード決済により払い込みください。

【3】窓口払い

二条城内の総合案内所で、現金もしくはクレジットカードで払い込みください（ご入城には入城料が必要となります）。

【税制上の優遇について】

募金箱への寄付を除き、税制上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。
この寄付金は、「ふるさと納税寄付金」と同様に確定申告により、所得税及び住民税の寄付金控除が受けられます。
なお、領収書につきましては、再発行できませんので大切に保管願います。

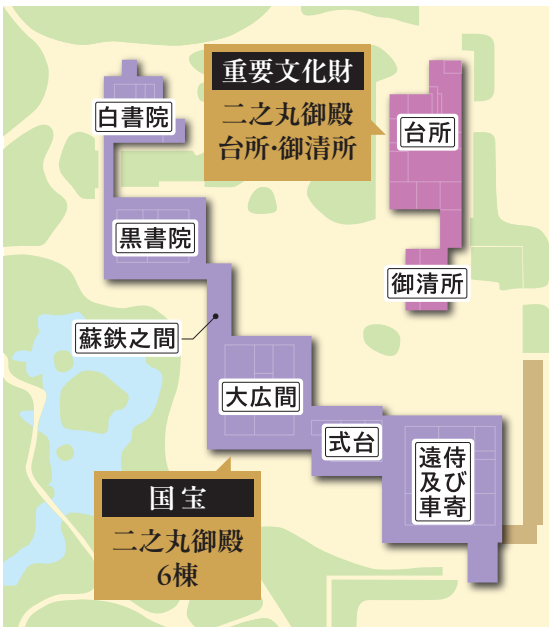
※クレジットカード決済をご利用になられた場合は、後日、確定申告に必要な寄付受領証明書を送付いたします。入金確認後の発送となりますので、お時間が少々かかりますことをご了承ください。

二条城公式ホームページ　一口城主募金
https://nijo-jocastle.city.kyoto.lg.jp/donation/

元離宮二条城二之丸御殿保存修理計画

保存修理工事を適切に実施・運営するため、元離宮二条城二之丸御殿保存修理計画を策定しました。

本計画では、文化財としての価値を最大限に維持し、さらには高めながら、安全性の確保と適切な修理を実施するための方針を定め、今後の設計・工事において必要となる技術的要件や配慮事項を整理しています。



各工区

- ●A工区　白書院（国宝）、台所（重要文化財）、御清所（重要文化財）
- ●B工区　黒書院（国宝）、蘇鉄之間（国宝）
- ●C工区　大広間（国宝）、式台（国宝）
- ●D工区　遠侍及び車寄（国宝）


白書院


黒書院


蘇鉄之間


大広間


式台

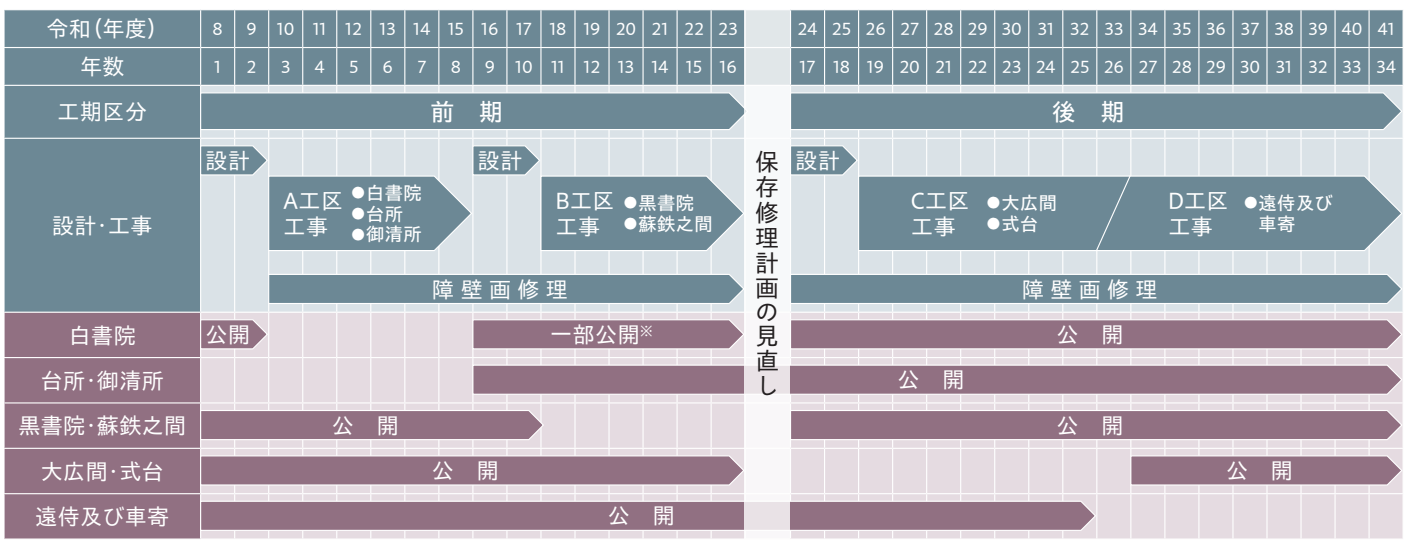

遠侍及び車寄


台所


御清所

事業費　約200億円

事業スケジュール　1工区あたり、6～9年の工事期間を見込んでおり、全4工区の総事業期間は34年となります。



※一部公開は、屋外から建物内部を観覧するかたちです

発行：令和8年11月／京都市文化市民局 元離宮二条城事務所
住所：京都市中京区二条通堀川西入二条城町541
電話：075-841-0096　FAX：075-802-6181　URL：https://nijo-jocastle.city.kyoto.lg.jp/
京都市印刷物第081458号

世界遺産・二条城一口城主募金 国宝・二之丸御殿白書院修理

口座番号	01040－1－960001	加入者名	京都市会計管理者

領　収　書　公

※　様

	年度	会計	No.
		０１	

款	１２	寄附金
項	０１	寄附金
目	０２	文化市民費寄附金
節	０１	文化市民総務費寄附金
細節	０１	文化芸術振興基金寄附金

※金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

上記の金額を領収しました。

ただし、世界遺産・二条城一口城主募金 国宝・二之丸御殿白書院修理 への寄付金として

証券による納付の場合、証券金額の支払がなかった時は、この領収書は、失効します。

京都市指定金融機関
京都市収納代理金融機関
京都市区会計管理者

（納入場所）

納入場所は京都市指定金融機関及び京都市収納代理金融機関の本店・支店、近畿2府4県のゆうちょ銀行直営店及び郵便局

受入日付印

整　理　番　号　(001)　（納入者保管）

※印欄はご本人でご記入ください。金額頭部に￥をおつけください。

世界遺産・二条城一口城主募金 国宝・二之丸御殿白書院修理

口座番号	01040－1－960001	加入者名	京都市会計管理者

寄付申出書兼 払込書 領収済通知書　公

（〒　－　）

※住所

フリガナ

※氏名　様　納

※連絡先電話番号

歳入出別	市区別	納付機関	年度	会計	No.
1	1			０１	

款	１２	寄附金
項	０１	寄附金
目	０２	文化市民費寄附金
節	０１	文化市民総務費寄附金
細節	０１	文化芸術振興基金寄附金

※金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

ただし、世界遺産・二条城一口城主募金 国宝・二之丸御殿白書院修理 への寄付金として

世界遺産・二条城一口城主募金 国宝・二之丸御殿白書院修理 の趣旨に賛同し、上記の金額を寄付したいので、この旨申込みます。

寄付金額に応じ、希望される特典(A～D)を記してください

※ 特典

顕彰不用な方はレをお願いします

※ 顕彰不要

所属	コード	期又は月
	2100020	
	文化市民局　元離宮二条城事務所	

備考　取扱者印

上記の金額を収納したので通知します。

京都市指定金融機関
京都市収納代理金融機関
京都市区会計管理者

受入日付印

取りまとめ局	ゆうちょ銀行 大阪貯金事務センター 〒539-8794

整　理　番　号　(001)　（取りまとめ局→加入者）

世界遺産・二条城一口城主募金 国宝・二之丸御殿白書院修理

口座番号	01040－1－960001	加入者名	京都市会計管理者

原　符　公

※　納

歳入出別	市区別	納付機関	年度	会計	No.
1	1			０１	

款	１２	寄附金
項	０１	寄附金
目	０２	文化市民費寄附金
節	０１	文化市民総務費寄附金
細節	０１	文化芸術振興基金寄附金

※金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

日計		受入日付印
口数		
金額	十 億 千 百 十 万 千 百 十 円	

整　理　番　号　(001)　（受付局保存）

御協力ありがとうございます。

・御協力いただきました寄付金は、京都市文化芸術振興基金に積み立て、京都市が責任を持って管理し、基金及び基金から生じる果実は二条城二之丸御殿（白書院）及び台所、御清所の保存修理に必要となる資金に充当いたします。

・この寄付金は、京都市に寄付されることになり、所得税法、地方税法の規定により、確定申告等によって所得（所得税）及び税額（個人住民税）から控除されます。また、法人税法の規定により損金算入することができます。

《注意》
　確定申告の際には、この寄付金の領収書が必要となります。また再発行はできませんので、大切に保管してください。